

令和元年度一般財団法人静岡県サッカー協会事業報告

(令和元年4月1日～令和2年3月31日)

1 事業の概況について

「サッカーを通じ、県民の心身の健全な発達と静岡県スポーツの振興に貢献し、豊かなスポーツ文化を醸成する」SFA理念の基に、主催事業126(8)、名義主催事業14(2)、主管事業17(2)、特別事業5(4)、5支部並びに各種委員会の活動が、無事終了できましたことに、まずもって厚くお礼を申し上げます。

しかしながら、未だ猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症の影響により、カッコ内の数の事業が中止となりました。特に各種別で計画されていた海外遠征がどの種別でも中止となり選手・指導者にとっては絶好の強化と人間性涵養の機会を失い残念なことでした。SFAの活動に対し、多くのステークホルダーの皆様方のご支援・ご協力に改めて感謝を申し上げる次第です。

本年度の「2019の重点施策」について、ご報告をいたします。

① 47FA一括補助金活用充実を図る

47FA一括補助金交付申請要項に基づき、JFAより70,962,025円補助金を基に100事業を実施しました。各担当者による計画・実践・報告決算と滞りなく業務を遂行していただきました。

② 競技力向上をより一層図る

6部門の全国制覇を成し遂げていただきました。

- ◆藤枝市役所「第48回全国自治体職員サッカー選手権大会優勝」
- ◆Honda FC「第21回日本フットボールリーグ優勝」
- ◆静岡学園高等学校「第98回全国高等学校サッカー選手権大会優勝」
- ◆藤枝順心高等学校「第28回全国高等学校女子サッカー選手権大会優勝」
- ◆SIZUNAN FC「JFA第25回全日本U15フットサル選手権大会優勝」
- ◆国体サッカー競技少年男子静岡県選抜チーム「第74回国民体育大会サッカー競技少年男子の部優勝」

以上6部門における金字塔を打ち立てていただきましたことに、敬意を表します。

特に、近年残念な結果が続いていた高校サッカーで藤枝順心高校・静岡学園高校がともに高校サッカーの集大成である全国高校サッカー選手権大会において見事全国優勝を成し遂げていただいたことは、静岡サッカー100周年を飾るにふさわしい結果だったと思います。昨年度立ち上げた「高校サッカー強化プロジェクト」をさらに推進し、サッカー王国静岡の復活に向け力を入れていきたいと考えます。

③ 国際試合を通して、強化・育成に力を注ぐ

- 2019磐田U-12国際サッカー大会「水原サムスン(韓国)、浙江绿城(中国)、フリーラ

ムユナイテッドFC(タイ)」

■2019SBS カップ国際ユースサッカー「ベルギー代表、コロンビア代表」

■スルガカップ 2019 静岡国際ユース U15 サッカー大会「デイポルティエボ・トルーカ(メキシコ)、ウェスタン・シドニー・ワンダラーズ(オーストラリア)」

■なでしこジャパン国際親善試合「カナダ女子代表」

2種・3種・4種と各年代の試合も白熱した好試合が行われ、競技力向上(強化・育成)に繋がったと確信しています。また、10月にはI A I スタジアムにおいてなでしこジャパンの国際試合も開催され女子サッカー活性化にも貢献できたと考えます。

④ リスペクト推進活動の推奨を図る

本年度は、静岡サッカーのあゆみ百周年を記念し11月11日を静岡サッカーの日と制定しました。その事業の一環としてリスペクト推進活動研修会(ウエルフェアオフィサー研修会)を静岡市清水文化会館マリナートで開催いたしました。講師には、(公財)日本サッカー協会技術部長 荒谷潤様をお迎えして、講義内容「子どもたちの成長を大切に思う」環境づくりに必要なこと。についてお話いただきました。

⑤ 静岡サッカーのあゆみ100年祭

静岡県のサッカー史は、1919年の静岡師範学校蹴球部創設を始まりとする。2019年は、静岡のサッカー史において100周年となる。これまでの100年を振り返り、これからの100年を展望するビジョンを発信する静岡県サッカーの「競技力」・「求心力」・「ブランド力」の強化に繋げることを基本理念としました。主な内容はSFA関連大会の記念事業化、百年祭記念イベント、記念誌編集、功労者選考、100周年記念映像制作、記念祝賀会開催、静岡ウルトラサッカーフェスティバル、静岡サッカーの日制定(11月11日)、サッカーレジェンドマッチ in Shizuoka2020等を実施した。竹山実行委員長を中心に幹事会・実行委員会で検討を積み重ね、多くの人たちの協力を得て無事終了することができました。改めて支えていただいた皆様方に感謝申し上げます。

今後も、次の100年に向け先人の築いた素晴らしい功績に満足することなく精進していきたいと思えます。

⑥ 協会のガバナンス・行動規範の周知徹底

スポーツ団体の不祥事が発生する昨今、常に円滑な組織運営が図られるよう、またそれぞれの支部、各セクションにおいて望ましい活動が推進されますよう、常にリスペクト精神を掲げガバナンス、コンプライアンス、危機管理を常に意識して取り組んで参ります。

〈文責〉

一般財団法人静岡県サッカー協会
業務執行理事 服部康雄